



浜松北病院
理事長兼院長 澤田 健

新年おめでとうございます。

浜松北病院は1983年に開院し今年3月28日をもって38年目を迎えます。このような長きにわたり、病院経営を続けてこられたのも、皆さまのご理解と暖かいご支援の賜物と深く感謝いたしております。

昨年は新天皇の御即位令和元年として数々の儀式の行われた記念すべき年でした。新元号のもと平成と同様に日本国民が幸せに暮らせる日本であり続けてほしいと思います。また、昨年は連続する大型台風の影響で各地に想像を超えた災害を被り、多くの家屋とともに多くの尊い命が失われ、また、めったに見られない豪雨が各地で頻繁に観測されるようになり今までにない水害に見舞われた年でもありました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

“備えあれば憂いなし”といいますが、一度も経験のない事象が起こったら、万全の準備も万全ではないということを痛感させられました。

常に謙虚であれ、です。

私共の基本理念である「思いやりを基本とした愛情ある医療と福祉を实践する」、この心をこのような時にこそ強く抱いて地域への貢献を果たしていかなければならない気持ちを強く持ったものです。

そして、昨年ラグビーワールドカップが日本で開催されたこともあり、新語*流行語大賞とされた“one team”となって多職種が同じ方向を向いてまい進する所存でございます。

私のライフワークとして糖尿病診療がありますが、昨年4月より糖尿病診療に精通した若手医師2名が新戦力として加わってくれました。そして今年4月からは、長年、浜松医科大学で地域家庭医療学、内分泌糖尿病学の教授として活躍されております沖隆先生が学術顧問として、当院に赴任されることとなりました。沖先生にはこれを引き続き当院を拠点として実臨床を継続され地域医療を我々とともに実践していただくことで、当院のこの分野のレベルアップがより図れるものと思います。今年も皆様とともに地域医療を守っていきましょう。



縁側の温もり

吐く息も白くなってきました。私の早出時間は東雲の頃。空気が澄み、だんだんと赤石の山々の稜線が見えてきます。

その山の中腹に祖父母の家がありました。

トタン屋根にコルタールが塗られた祖父母の家... 西向きに作られた縁側が、季節毎に雰囲気を変えていました。

茶摘みのシーズンには、お手伝いさんらのコミュニティの場に早変わり。お茶（一服）の時間になれば昔話に花を咲かせ賑やかな笑い声が絶えません。茶摘み籠を降ろし腰掛けながら、夕立をやり過ごす事もありました。

冬の時期の縁側は対照的。夏が“動、であれば“静、といった感じ。子供から見れば、物が多くかなり散らかって見えました。

縁側いっぱい広げられた竹ザルには、小豆、干し芋が。上に目をやれば渋柿が暖簾の様に吊り下がっています。雪見ガラスの向こうには、掘りゴタツで転寝する祖父の姿。今でも目に浮かびます。中でも干し芋の竹ザルが一番多く並べられていましたね。

それらは冬の備えでもあったと思いますが、ザルの中身は孫の大好きな物ばかりでした。（今思えば正月に遊びに来る孫への準備だったのかな）

祖母は縁側に座り、お籠(くど)で茹でた熱々のサツマ芋を手際よく皮を剥き、切っては、切っては竹ザルに並べます。干したばかりの芋はしっとりモチモチです。それを我先に頬張る悪戯坊主達...。その様子を怒る事もなくニコニコしながら干し芋を作り続ける祖母は優しかったですね。

私も大きくなり部活に勤しみ時間も作れず遠のいたあの縁側。それでも祖母は干し芋を小包で送ってくれました。粉が噴いた固くなった芋をストーブで炙り柔らかくして頬張れば、あの時の悪戯坊主と同じ顔...。ほっこり笑顔になりました。

もう干し芋は届く事はなくなりましたが、澄んだ山々を見ると思い出します。

新しい年 2020年。あの時の笑顔で毎日過ごせたら... そんな年になるといいな。

管理栄養士 青山





放射線科

放射線科は現在診療放射線技師5名(内女性1名)で胸部や骨の写真でおなじみのX線撮影のほかにX線を使用して体の輪切りの画像を撮影するCT(GE製64列)検査、磁力とラジオ波を用いたCTとは違った画像を得ることが出来るMRI(GE製1.5T)検査を行っています。その他には、CTと同じX線を使用し、造影剤と言う薬を使って心臓の血管を見る心臓カテーテル検査、X線で透視を行いながらする検査、骨密度測定、エコーを用いたIMT検査やFMD検査などを患者様の安心と安全を第一に考え、行っています。

全身用コンピューター断層撮影装置 ボリュームCTスキャナシステム(CT装置)

当院ではこの度CT装置(GE製 Revolution EVO)の更新を行いました。検査は、ベッドに寝ているだけで終了します。これにより、さらに短い時間で患者様に苦痛の少ない検査を行えるようになりました。また、当院の装置は、一回の撮影で同時に複数の輪切り像が得られる最新型ボリュームCTスキャナです。得られた複数枚の画像から精密な立体画像を作ることにも可能です。



紹介した機器・検査は当院で行っている検査の一部です。併せて、他医療機関から放射線科へ検査依頼の患者様をご紹介いただいております。紹介元の先生からのご指示に基づき、安全に検査を実施し、結果は検査から一週間程で、画像と読影レポートをお届けいたします。

検査についてご不明な点やご相談等がございましたら放射線科窓口にお問い合わせください。



令和1年11月3日 秋祭りが執り行われました。大勢の方にご来場いただき、模擬店のおいなりさんやたい焼きが飛ぶように売れ、利用者様の作品展(右画像)も楽しんでいただきました。



模擬店対抗戦の結果は、以下の通りとなりました。投票していただきました皆様に感謝申し上げます。

1 おおせ第二デイサービスセンター
クロッケ・たい焼き

2 訪問看護ステーション大瀬
訪問リハビリテーション大瀬
いなりずし・豚汁・健康チェック

3 大瀬介護保険センター
きたぞうウォーク
フランクフルト・焼き鳥・焼き芋

おおせデイサービスセンター
余興「たたくんとゆかいな仲間たち」
で大奮闘!!



◇遠州鉄道
積志駅下車
徒歩15分

◇遠鉄バス
JR浜松駅
10番バスターミナル
77 労災・東海染工
イオン市野行き
→浜松北病院下車

〒431-3113 静岡県浜松市東区大瀬町1568番地

TEL (053)435-1111(代表)
FAX (053)433-2700(代表)
TEL (053)435-1522(地域医療支援課)
FAX (0120)435-351(地域医療支援課)
E-MAIL seisyukai@hamamatsu-kb.or.jp
ホームページ http://www.hamamatsu-kb.or.jp



翔き

はばた

2020
新年号
No. 56



在宅介護支援グループの秋祭り
焼き鳥・フランクフルトなどの出店や余興で大勢の方が楽しんでいただけました。模擬店対抗戦の勝者に輝いたのはどの事業所? 気になる結果は、お知らせ欄にて..。



医療法人社団 盛翔会 浜松北病院

大瀬介護保険センター きたぞうウォーク
訪問看護ステーション大瀬 訪問リハビリテーション大瀬
おおせデイサービスセンター おおせ第二デイサービスセンター

基本理念
思いやりを基本とした愛情ある医療と福祉を実現する。